

ダイワ・オーストラリア 高配当株α（毎月分配型）

株式αコース

通貨αコース

株式&通貨ツインαコース

運用報告書（全体版）

第78期（決算日 2019年8月19日）

第79期（決算日 2019年9月17日）

第80期（決算日 2019年10月17日）

第81期（決算日 2019年11月18日）

第82期（決算日 2019年12月17日）

第83期（決算日 2020年1月17日）

（作成対象期間 2019年7月18日～2020年1月17日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2013年1月23日～2023年1月17日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	株式αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	株式&通貨ツインαコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、予想配当利回りの高いオーストラリア株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5747>

<5748>

<5749>

株式αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
54期末(2017年8月17日)	6,838	90	0.3	11,278	0.1	—	98.4	379
55期末(2017年9月19日)	6,843	90	1.4	11,368	0.8	—	98.4	373
56期末(2017年10月17日)	6,777	90	0.4	11,501	1.2	—	98.3	358
57期末(2017年11月17日)	6,623	90	△0.9	11,389	△1.0	—	99.4	360
58期末(2017年12月18日)	6,629	90	1.4	11,549	1.4	—	98.3	365
59期末(2018年1月17日)	6,585	90	0.7	11,924	3.2	—	99.4	364
60期末(2018年2月19日)	6,013	90	△7.3	11,118	△6.8	—	98.3	329
61期末(2018年3月19日)	5,888	90	△0.6	10,873	△2.2	—	98.6	319
62期末(2018年4月17日)	5,757	90	△0.7	10,881	0.1	—	98.4	325
63期末(2018年5月17日)	5,687	90	0.3	11,325	4.1	—	98.3	324
64期末(2018年6月18日)	5,559	90	△0.7	11,196	△1.1	—	97.3	325
65期末(2018年7月17日)	5,570	90	1.8	11,626	3.8	—	98.6	319
66期末(2018年8月17日)	5,367	90	△2.0	11,386	△2.1	—	98.5	302
67期末(2018年9月18日)	5,223	90	△1.0	11,072	△2.8	—	95.5	333
68期末(2018年10月17日)	4,914	60	△4.8	10,530	△4.9	—	98.4	311
69期末(2018年11月19日)	4,912	60	1.2	10,566	0.3	—	98.4	309
70期末(2018年12月17日)	4,698	60	△3.1	10,186	△3.6	—	99.0	280
71期末(2019年1月17日)	4,558	60	△1.7	10,186	0.0	—	98.8	271
72期末(2019年2月18日)	4,614	60	2.5	10,714	5.2	—	95.4	260
73期末(2019年3月18日)	4,654	60	2.2	10,913	1.9	—	98.4	261
74期末(2019年4月17日)	4,720	60	2.7	11,269	3.3	—	98.4	262
75期末(2019年5月17日)	4,437	60	△4.7	10,714	△4.9	—	98.4	246
76期末(2019年6月17日)	4,366	60	△0.2	10,946	2.2	—	98.4	243
77期末(2019年7月17日)	4,407	60	2.3	11,281	3.1	—	98.4	244
78期末(2019年8月19日)	4,009	60	△7.7	10,328	△8.4	—	98.4	205
79期末(2019年9月17日)	4,260	60	7.8	11,074	7.2	—	98.5	219
80期末(2019年10月17日)	4,140	60	△1.4	11,112	0.3	—	98.3	208
81期末(2019年11月18日)	4,186	40	2.1	11,266	1.4	—	98.2	211
82期末(2019年12月17日)	4,244	40	2.3	11,527	2.3	—	98.3	210
83期末(2020年1月17日)	4,284	40	1.9	11,973	3.9	—	98.3	194

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

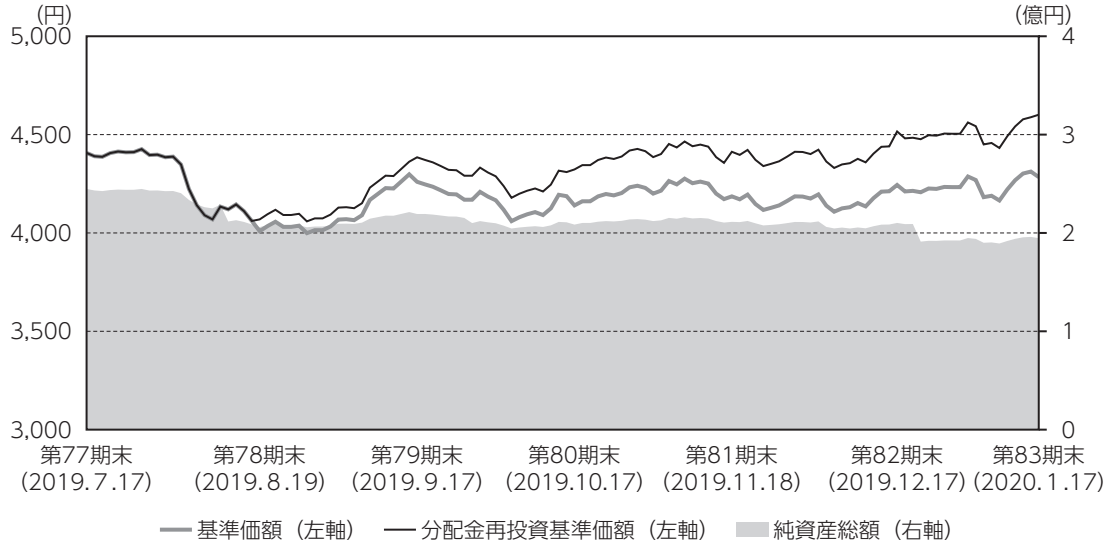
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第78期首：4,407円

第83期末：4,284円（既払分配金300円）

騰落率：4.4%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、豪ドルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、株価が上昇したことがプラスに働き、上昇しました。株式オプション取引については、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第78期	(期首)2019年7月17日	円 4,407	% -	11,281	% -	% -	% 98.4
	7月末	4,385	△0.5	11,410	1.1	-	98.8
	(期末)2019年8月19日	4,069	△7.7	10,328	△8.4	-	98.4
第79期	(期首)2019年8月19日	4,009	-	10,328	-	-	98.4
	8月末	4,033	0.6	10,410	0.8	-	98.3
	(期末)2019年9月17日	4,320	7.8	11,074	7.2	-	98.5
第80期	(期首)2019年9月17日	4,260	-	11,074	-	-	98.5
	9月末	4,209	△1.2	10,939	△1.2	-	98.2
	(期末)2019年10月17日	4,200	△1.4	11,112	0.3	-	98.3
第81期	(期首)2019年10月17日	4,140	-	11,112	-	-	98.3
	10月末	4,229	2.1	11,254	1.3	-	98.2
	(期末)2019年11月18日	4,226	2.1	11,266	1.4	-	98.2
第82期	(期首)2019年11月18日	4,186	-	11,266	-	-	98.2
	11月末	4,185	△0.0	11,373	1.0	-	98.3
	(期末)2019年12月17日	4,284	2.3	11,527	2.3	-	98.3
第83期	(期首)2019年12月17日	4,244	-	11,527	-	-	98.3
	12月末	4,287	1.0	11,666	1.2	-	98.3
	(期末)2020年1月17日	4,324	1.9	11,973	3.9	-	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.7.18~2020.1.17)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首より、RBA（オーストラリア準備銀行）が利下げを実施したことや米中貿易摩擦に対する警戒感が和らいだことなどから上昇して始まりましたが、2019年8月に入ると、米国が対中制裁関税第4弾の発動を表明したことに加え、中国を「為替操作国」に指定したことにより、投資家のリスク回避姿勢が強まり大きく下落しました。その後は、米中通商協議の先行き不透明感や米国の景気後退懸念などが株価の重しとなったものの、RBAによる追加利下げ観測や米中通商協議の進展などに下支えされ、底堅く推移しました。当作成期末にかけては、2020年1月以降緊迫化していた米・イラン関係で本格的な武力衝突が回避されたことや米中通商協議の「第1段階の合意」が正式署名されたことでリスク選好度が強まり、上昇基調となりました。

■為替相場

豪ドルは対円で小幅に下落しました。

当作成期首から2019年8月にかけての豪ドル対円為替相場は、RBA（オーストラリア準備銀行）による政策金利の引き下げや、米中貿易摩擦が深刻化し投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円高豪ドル安が進行しました。9月以降は、米中両国が貿易協議の再開で合意したことが好感されたほか、貿易協議で両国が「第1段階の合意」に達し米中貿易摩擦に対する警戒感が和らいだことなどから、おおむね円安豪ドル高基調となりました。11月および12月のオーストラリア国内の金融政策決定会合において政策金利が据え置かれたことも、豪ドル高につながりました。2020年に入ると、中東情勢が緊迫化したことで円が買われ、いったんは円高豪ドル安となりましたが、その後、本格的な武力衝突が回避されたことで豪ドルは円に対し値を戻しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.7.18~2020.1.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

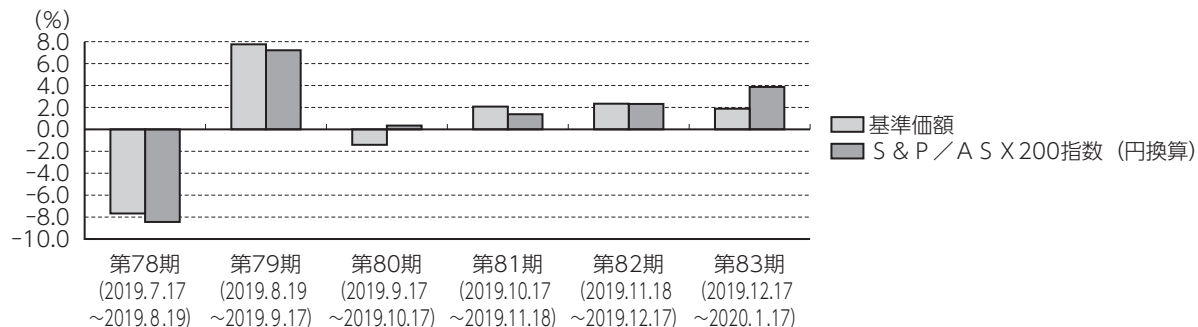
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2019年7月18日 ～2019年8月19日	2019年8月20日 ～2019年9月17日	2019年9月18日 ～2019年10月17日	2019年10月18日 ～2019年11月18日	2019年11月19日 ～2019年12月17日	2019年12月18日 ～2020年1月17日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	40	40	40
対基準価額比率（％）	1.47	1.39	1.43	0.95	0.93	0.93
当期の収益（円）	44	46	43	40	40	40
当期の収益以外（円）	15	13	16	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	496	482	466	471	477	484

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 44.94円	✓ 46.04円	✓ 43.09円	✓ 45.39円	✓ 46.39円	✓ 46.29円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 511.97	✓ 496.92	✓ 482.97	466.07	466.10	466.15
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	5.37	11.74
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	556.92	542.96	526.06	511.47	517.87	524.19
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	496.92	482.96	466.06	471.47	477.87	484.19

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項目	第78期～第83期 (2019.7.18～2020.1.17)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	28円	0.673%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,192円です。
(投信会社)	(9)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(18)	(0.439)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	28	0.677	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

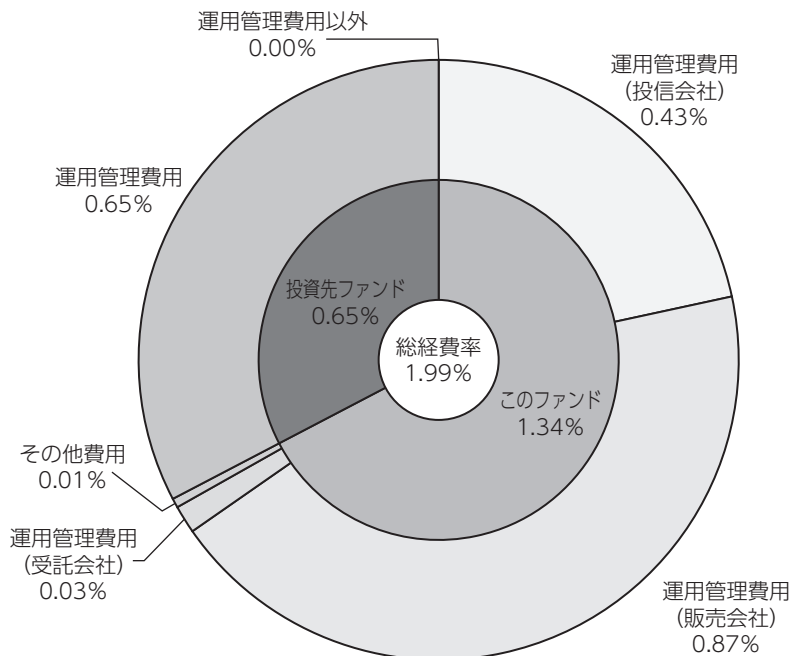
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。



総経費率 (①+②+③)	1.99%
①このファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 投資ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年7月18日から2020年1月17日まで)

決算期	第78期～第83期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	332,62194	14,661	1,301,14363	57,825

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年7月18日から2020年1月17日まで)

第78期				第83期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千□	千円	円		千□	千円	円
				AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	1,301,14363	57,825	44

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第83期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS)	千□ 4,139,36364	千円 191,362	% 98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第83期末		
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千□ 98	千□ 98	千円 99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年1月17日現在

項目	第83期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 191,362	% 97.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.1
コール・ローン等、その他	5,308	2.6
投資信託財産総額	196,771	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月19日)、(2019年9月17日)、(2019年10月17日)、(2019年11月18日)、(2019年12月17日)、(2020年1月17日)現在

項 目	第 78 期 末	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末	第 83 期 末
(A) 資産	209,324,046円	222,570,345円	211,755,806円	213,706,719円	212,380,922円	196,771,677円
コール・ローン等	6,593,658	6,589,425	6,667,115	6,027,473	5,619,611	5,308,985
投資信託受益証券(評価額)	202,630,467	215,880,999	204,988,770	207,579,335	206,661,400	191,362,781
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,921	99,921	99,921	99,911	99,911	99,911
(B) 負債	3,364,000	3,313,963	3,258,488	2,425,367	2,211,492	2,049,856
未払収益分配金	3,082,537	3,088,067	3,021,572	2,018,954	1,980,718	1,818,336
未払解約金	-	-	-	149,085	-	-
未払信託報酬	279,742	222,807	232,412	251,309	223,409	222,811
その他未払費用	1,721	3,089	4,504	6,019	7,365	8,709
(C) 純資産総額(A-B)	205,960,046	219,256,382	208,497,318	211,281,352	210,169,430	194,721,821
元本	513,756,292	514,677,998	503,595,415	504,738,730	495,179,645	454,584,041
次期繰越増損益金	△307,796,246	△295,421,616	△295,098,097	△293,457,378	△285,010,215	△259,862,220
(D) 受益権総口数	513,756,292口	514,677,998口	503,595,415口	504,738,730口	495,179,645口	454,584,041口
1万口当り基準価額(C/D)	4,009円	4,260円	4,140円	4,186円	4,244円	4,284円

*第77期末における元本額は555,410,303円、当作成期間(第78期~第83期)中における追加設定元本額は9,723,672円、同解約元本額は110,549,934円です。

*第83期末の計算口数当りの純資産額は4,284円です。

*第83期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は259,862,220円です。

■損益の状況

第78期 自2019年7月18日 至2019年8月19日 第81期 自2019年10月18日 至2019年11月18日
 第79期 自2019年8月20日 至2019年9月17日 第82期 自2019年11月19日 至2019年12月17日
 第80期 自2019年9月18日 至2019年10月17日 第83期 自2019年12月18日 至2020年1月17日

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(A) 配当等収益	2,590,733円	2,402,834円	2,403,920円	2,424,919円	2,403,434円	2,235,654円
受取配当金	2,590,918	2,403,011	2,404,049	2,425,051	2,403,507	2,235,840
受取利息	-	-	6	-	2	1
支払利息	△ 185	△ 177	△ 135	△ 132	△ 75	△ 187
(B) 有価証券売買損益	△ 19,661,024	13,835,143	△ 5,185,061	2,155,964	2,692,207	1,589,421
売買益	1,256,777	13,838,510	117,977	2,157,954	2,809,666	1,738,659
売買損	△ 20,917,801	△ 3,367	△ 5,303,038	△ 1,990	△ 117,459	△ 149,238
(C) 信託報酬等	△ 281,463	△ 224,175	△ 233,827	△ 252,824	△ 224,756	△ 224,155
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 17,351,754	16,013,802	△ 3,014,968	4,328,059	4,870,885	3,600,920
(E) 前期繰越増損益金	△159,226,197	△178,557,848	△160,819,138	△165,809,309	△159,919,437	△143,793,416
(F) 追加信託差損益金	△128,135,758	△129,789,503	△128,242,419	△129,957,174	△127,980,945	△117,851,388
(配当等相当額)	(26,303,077)	(25,575,710)	(24,322,311)	(23,524,846)	(23,080,588)	(21,190,492)
(売買損益相当額)	(△154,438,835)	(△155,365,213)	(△152,564,730)	(△153,482,020)	(△151,061,533)	(△139,041,880)
(G) 合計(D+E+F)	△304,713,709	△292,333,549	△292,076,525	△291,438,424	△283,029,497	△258,043,884
(H) 収益分配金	△ 3,082,537	△ 3,088,067	△ 3,021,572	△ 2,018,954	△ 1,980,718	△ 1,818,336
次期繰越増損益金(G+H)	△307,796,246	△295,421,616	△295,098,097	△293,457,378	△285,010,215	△259,862,220
追加信託差損益金	△128,909,027	△130,507,915	△129,093,898	△129,957,174	△127,980,945	△117,851,388
(配当等相当額)	(25,529,808)	(24,857,298)	(23,470,832)	(23,524,846)	(23,080,588)	(21,190,492)
(売買損益相当額)	(△154,438,835)	(△155,365,213)	(△152,564,730)	(△153,482,020)	(△151,061,533)	(△139,041,880)
分配準備積立金	-	-	-	272,120	582,859	820,028
繰越増損益金	△178,887,219	△164,913,701	△166,004,199	△163,772,324	△157,612,129	△142,830,860

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,309,268円	2,369,655円	2,170,093円	2,291,074円	2,297,417円	2,104,634円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	26,303,077	25,575,710	24,322,311	23,524,846	23,080,588	21,190,492
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	266,160	533,730
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	28,612,345	27,945,365	26,492,404	25,815,920	25,644,165	23,828,856
(f) 分配金	3,082,537	3,088,067	3,021,572	2,018,954	1,980,718	1,818,336
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	25,529,808	24,857,298	23,470,832	23,796,966	23,663,447	22,010,520
(h) 受益権総口数	513,756,292口	514,677,998口	503,595,415口	504,738,730口	495,179,645口	454,584,041口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
1 万口当り分配金	60円	60円	60円	40円	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
54期末(2017年8月17日)	8,283	90	1.3	11,278	0.1	87.23	△0.4	—	96.5	597
55期末(2017年9月19日)	8,163	90	△0.4	11,368	0.8	88.92	1.9	—	95.2	626
56期末(2017年10月17日)	8,211	90	1.7	11,501	1.2	88.02	△1.0	—	98.3	652
57期末(2017年11月17日)	8,158	90	0.5	11,389	△1.0	85.74	△2.6	—	101.1	637
58期末(2017年12月18日)	8,203	90	1.7	11,549	1.4	86.17	0.5	—	98.4	647
59期末(2018年1月17日)	7,989	90	△1.5	11,924	3.2	88.21	2.4	—	98.1	649
60期末(2018年2月19日)	7,356	90	△6.8	11,118	△6.8	84.26	△4.5	—	98.3	595
61期末(2018年3月19日)	7,257	90	△0.1	10,873	△2.2	81.78	△2.9	—	95.5	614
62期末(2018年4月17日)	7,021	90	△2.0	10,881	0.1	83.35	1.9	—	97.5	606
63期末(2018年5月17日)	7,101	90	2.4	11,325	4.1	82.98	△0.4	—	96.9	658
64期末(2018年6月18日)	7,032	90	0.3	11,196	△1.1	82.21	△0.9	—	97.1	657
65期末(2018年7月17日)	7,116	90	2.5	11,626	3.8	83.35	1.4	—	96.0	754
66期末(2018年8月17日)	7,018	90	△0.1	11,386	△2.1	80.51	△3.4	—	98.5	795
67期末(2018年9月18日)	6,766	90	△2.3	11,072	△2.8	80.10	△0.5	—	97.8	799
68期末(2018年10月17日)	6,325	90	△5.2	10,530	△4.9	80.27	0.2	—	98.4	758
69期末(2018年11月19日)	6,248	90	0.2	10,566	0.3	82.50	2.8	—	97.4	776
70期末(2018年12月17日)	6,013	90	△2.3	10,186	△3.6	81.36	△1.4	—	98.6	835
71期末(2019年1月17日)	5,915	90	△0.1	10,186	0.0	78.11	△4.0	—	98.6	814
72期末(2019年2月18日)	6,033	90	3.5	10,714	5.2	79.03	1.2	—	99.1	857
73期末(2019年3月18日)	6,196	90	4.2	10,913	1.9	79.08	0.1	—	98.1	960
74期末(2019年4月17日)	6,230	90	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	—	98.4	991
75期末(2019年5月17日)	5,999	90	△2.3	10,714	△4.9	75.76	△5.7	—	98.4	943
76期末(2019年6月17日)	6,044	90	2.3	10,946	2.2	74.73	△1.4	—	98.4	904
77期末(2019年7月17日)	6,071	90	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	—	98.3	987
78期末(2019年8月19日)	5,578	90	△6.6	10,328	△8.4	72.15	△5.1	—	98.4	931
79期末(2019年9月17日)	5,947	90	8.2	11,074	7.2	74.25	2.9	—	98.4	1,007
80期末(2019年10月17日)	5,831	90	△0.4	11,112	0.3	73.81	△0.6	—	99.2	996
81期末(2019年11月18日)	5,901	60	2.2	11,266	1.4	74.20	0.5	—	98.4	980
82期末(2019年12月17日)	5,970	60	2.2	11,527	2.3	75.30	1.5	—	98.4	952
83期末(2020年1月17日)	6,046	60	2.3	11,973	3.9	76.08	1.0	—	98.4	923

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

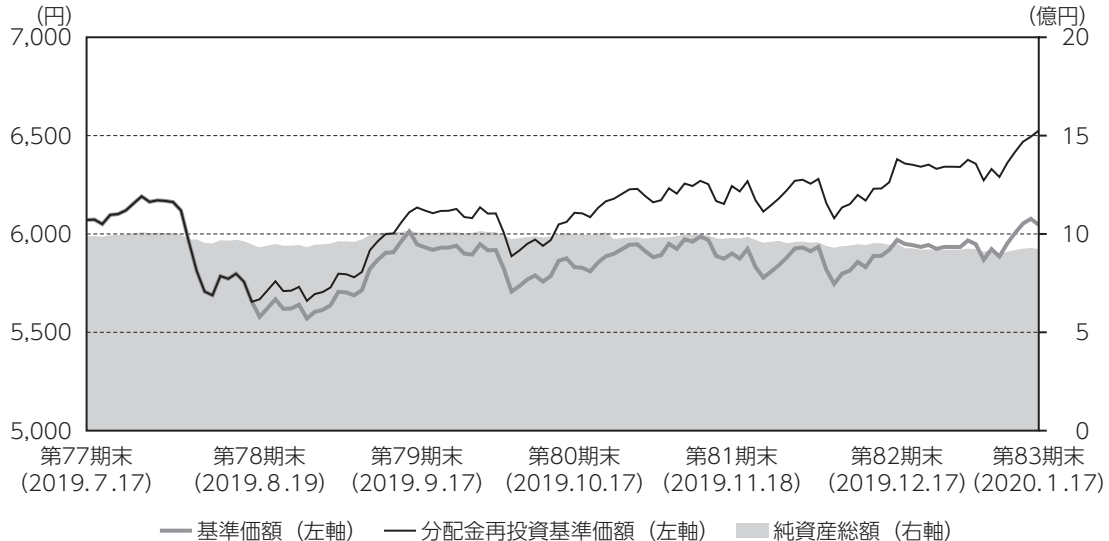
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第78期首：6,071円

第83期末：6,046円（既払分配金450円）

騰落率：7.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）については、オーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、豪ドルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、株価が上昇したことがプラスに働き、上昇しました。通貨オプション取引については、プラスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	(円 換 算) 騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第78期	(期首)2019年7月17日	円 6,071	% -	11,281	% -	円 76.01	% -	% -	% 98.3
	7月末	6,168	1.6	11,410	1.1	74.59	△1.9	-	98.2
	(期末)2019年8月19日	5,668	△6.6	10,328	△8.4	72.15	△5.1	-	98.4
第79期	(期首)2019年8月19日	5,578	-	10,328	-	72.15	-	-	98.4
	8月末	5,637	1.1	10,410	0.8	71.58	△0.8	-	97.5
	(期末)2019年9月17日	6,037	8.2	11,074	7.2	74.25	2.9	-	98.4
第80期	(期首)2019年9月17日	5,947	-	11,074	-	74.25	-	-	98.4
	9月末	5,948	0.0	10,939	△1.2	72.88	△1.8	-	97.8
	(期末)2019年10月17日	5,921	△0.4	11,112	0.3	73.81	△0.6	-	99.2
第81期	(期首)2019年10月17日	5,831	-	11,112	-	73.81	-	-	99.2
	10月末	5,912	1.4	11,254	1.3	75.28	2.0	-	98.5
	(期末)2019年11月18日	5,961	2.2	11,266	1.4	74.20	0.5	-	98.4
第82期	(期首)2019年11月18日	5,901	-	11,266	-	74.20	-	-	98.4
	11月末	5,931	0.5	11,373	1.0	74.14	△0.1	-	98.5
	(期末)2019年12月17日	6,030	2.2	11,527	2.3	75.30	1.5	-	98.4
第83期	(期首)2019年12月17日	5,970	-	11,527	-	75.30	-	-	98.4
	12月末	5,967	△0.1	11,666	1.2	76.52	1.6	-	98.9
	(期末)2020年1月17日	6,106	2.3	11,973	3.9	76.08	1.0	-	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.7.18~2020.1.17)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首より、RBA（オーストラリア準備銀行）が利下げを実施したことや米中貿易摩擦に対する警戒感が和らいだことなどから上昇して始まりましたが、2019年8月に入ると、米国が対中制裁関税第4弾の発動を表明したことに加え、中国を「為替操作国」に指定したことにより、投資家のリスク回避姿勢が強まり大きく下落しました。その後は、米中通商協議の先行き不透明感や米国の景気後退懸念などが株価の重しとなったものの、RBAによる追加利下げ観測や米中通商協議の進展などに下支えされ、底堅く推移しました。当作成期末にかけては、2020年1月以降緊迫化していた米・イラン関係で本格的な武力衝突が回避されたことや米中通商協議の「第1段階の合意」が正式署名されたことでリスク選好度が強まり、上昇基調となりました。

■為替相場

豪ドルは対円で小幅に下落しました。

当作成期首から2019年8月にかけての豪ドル対円為替相場は、RBA（オーストラリア準備銀行）による政策金利の引き下げや、米中貿易摩擦が深刻化し投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円高豪ドル安が進行しました。9月以降は、米中両国が貿易協議の再開で合意したことが好感されたほか、貿易協議で両国が「第1段階の合意」に達し米中貿易摩擦に対する警戒感が和らいだことなどから、おおむね円安豪ドル高基調となりました。11月および12月のオーストラリア国内の金融政策決定会合において政策金利が据え置かれたことも、豪ドル高につながりました。2020年に入ると、中東情勢が緊迫化したことで円が買われ、いったんは円高豪ドル安となりましたが、その後、本格的な武力衝突が回避されたことで豪ドルは円に対し値を戻しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.7.18~2020.1.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

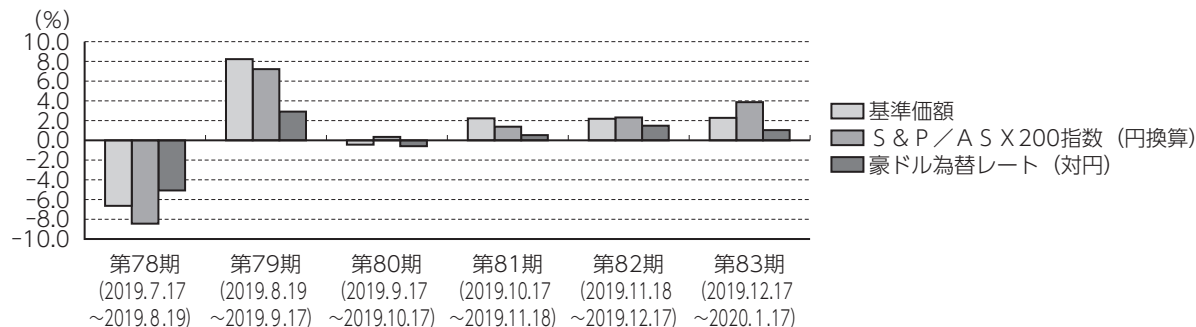
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2019年7月18日 ～2019年8月19日	2019年8月20日 ～2019年9月17日	2019年9月18日 ～2019年10月17日	2019年10月18日 ～2019年11月18日	2019年11月19日 ～2019年12月17日	2019年12月18日 ～2020年1月17日
当期分配金（税込み）（円）	90	90	90	60	60	60
対基準価額比率（%）	1.59	1.49	1.52	1.01	1.00	0.98
当期の収益（円）	61	63	60	60	60	60
当期の収益以外（円）	28	26	29	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,000	975	946	950	955	960

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 61.16円	✓ 63.93円	✓ 60.89円	✓ 63.42円	✓ 64.72円	✓ 65.59円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,029.38	✓ 1,001.38	✓ 975.41	946.95	947.19	947.22
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	3.40	8.11
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,090.54	1,065.31	1,036.31	1,010.38	1,015.32	1,020.94
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,000.54	975.31	946.31	950.38	955.32	960.94

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第78期～第83期 (2019.7.18～2020.1.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0.674%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,882円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.439)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	40	0.677	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

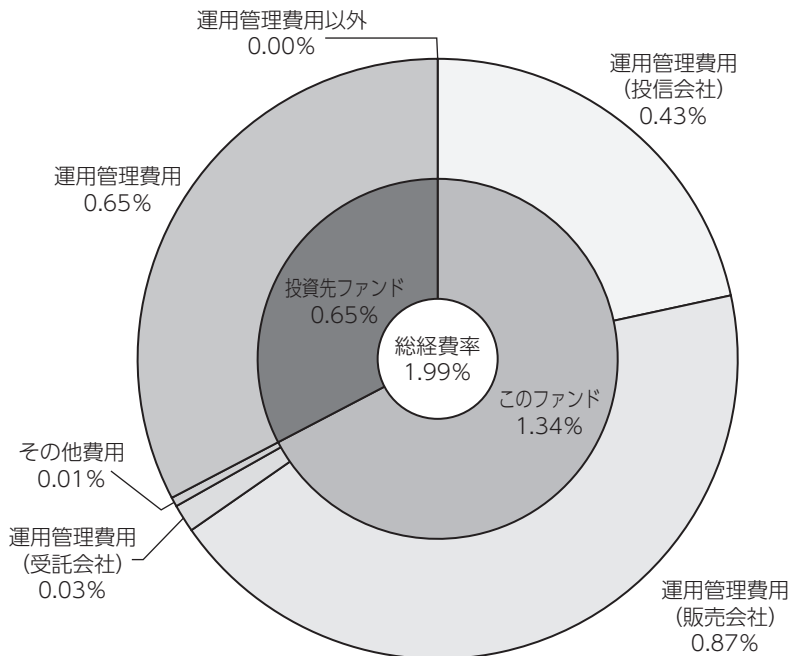
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。



総経費率 (①+②+③)	1.99%
①このファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 投資ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年7月18日から2020年1月17日まで)

決算期	第78期～第83期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	1,814.52659	104,848	2,939.59278	175,470

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年7月18日から2020年1月17日まで)

第78期				第83期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	□数	金額	円	銘柄	□数	金額	円
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	千□ 669.6395	千円 38,000	円 56	AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	千□ 2,939.59278	千円 175,470	円 59

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第83期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS)	千□ 14,715.88458	千円 909,191	% 98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第77期末	第83期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千□ 98	千□ 98	千円 99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年1月17日現在

項目	第83期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 909,191	% 97.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	24,926	2.7
投資信託財産総額	934,218	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月19日)、(2019年9月17日)、(2019年10月17日)、(2019年11月18日)、(2019年12月17日)、(2020年1月17日)現在

項目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
(A) 資産	949,675,573円	1,033,027,281円	1,012,794,952円	991,303,906円	990,307,964円	934,218,117円
コール・ローン等	32,303,718	41,583,519	24,653,410	27,180,094	26,922,097	24,926,709
投資信託受益証券(評価額)	917,271,934	991,343,841	988,041,621	964,023,901	937,364,144	909,191,497
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,921	99,921	99,921	99,911	99,911	99,911
未収入金	-	-	-	-	25,921,812	-
(B) 負債	17,912,607	25,769,196	16,495,429	11,161,144	37,929,913	10,407,358
未払金	-	-	-	-	12,960,906	-
未払収益分配金	15,034,343	15,243,151	15,377,732	9,965,876	9,572,038	9,167,316
未払解約金	1,694,310	9,490,720	-	-	14,339,826	144,721
未払信託報酬	1,176,660	1,021,694	1,097,339	1,167,792	1,023,457	1,055,214
その他未払費用	7,294	13,631	20,358	27,476	33,686	40,107
(C) 純資産総額(A-B)	931,762,966	1,007,258,085	996,299,523	980,142,762	952,378,051	923,810,759
元本	1,670,482,588	1,693,683,484	1,708,636,895	1,660,979,334	1,595,339,833	1,527,886,139
次期繰越損益金	△ 738,719,622	△ 686,425,399	△ 712,337,372	△ 680,836,572	△ 642,961,782	△ 604,075,380
(D) 受益権総口数	1,670,482,588口	1,693,683,484口	1,708,636,895口	1,660,979,334口	1,595,339,833口	1,527,886,139口
1万口当り基準価額(C/D)	5,578円	5,947円	5,831円	5,901円	5,970円	6,046円

*第77期末における元本額は1,626,761,509円、当作成期間(第78期~第83期)中における追加設定元本額は152,534,990円、同解約元本額は251,410,360円です。

*第83期末の計算口数当りの純資産額は6,046円です。

*第83期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は604,075,380円です。

■損益の状況

第78期 自2019年7月18日 至2019年8月19日 第81期 自2019年10月18日 至2019年11月18日
 第79期 自2019年8月20日 至2019年9月17日 第82期 自2019年11月19日 至2019年12月17日
 第80期 自2019年9月18日 至2019年10月17日 第83期 自2019年12月18日 至2020年1月17日

項目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(A) 配当等収益	11,401,692円	10,972,373円	11,509,015円	11,117,481円	10,841,904円	10,531,879円
受取配当金	11,402,758	10,973,487	11,509,727	11,118,289	10,842,310	10,532,649
受取利息	-	-	27	6	10	1
支払利息	△ 1,066	△ 1,114	△ 739	△ 814	△ 416	△ 771
(B) 有価証券売買損益	△ 77,052,718	△ 67,542,221	△ 14,811,865	△ 11,302,242	△ 10,778,023	△ 11,398,768
売買益	140,670	67,953,721	87	11,700,754	11,128,725	11,927,760
売買損	△ 77,193,388	△ 411,500	△ 14,811,952	△ 398,512	△ 350,702	△ 528,992
(C) 信託報酬等	△ 1,183,954	△ 1,028,031	△ 1,104,069	△ 1,174,910	△ 1,029,681	△ 1,061,635
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 66,834,980	△ 77,486,563	△ 4,406,919	△ 21,244,813	△ 20,590,246	△ 20,869,012
(E) 前期繰越損益金	△ 213,407,642	△ 287,645,167	△ 220,986,059	△ 223,782,401	△ 203,000,082	△ 183,593,589
(F) 追加信託差損益金	△ 443,442,657	△ 461,023,644	△ 471,566,662	△ 468,333,108	△ 450,979,908	△ 432,183,487
(配当等相当額)	(171,956,715)	(169,602,264)	(166,662,887)	(157,287,667)	(151,110,543)	(144,725,946)
(売買損益相当額)	(△615,399,372)	(△630,625,908)	(△638,229,549)	(△625,620,775)	(△602,090,451)	(△576,909,433)
(G) 合計(D+E+F)	△ 723,685,279	△ 671,182,248	△ 696,959,640	△ 670,870,696	△ 633,389,744	△ 594,908,064
(H) 収益分配金	△ 15,034,343	△ 15,243,151	△ 15,377,732	△ 9,965,876	△ 9,572,038	△ 9,167,316
次期繰越損益金(G+H)	△ 738,719,622	△ 686,425,399	△ 712,337,372	△ 680,836,572	△ 642,961,782	△ 604,075,380
追加信託差損益金	△ 448,259,265	△ 465,438,040	△ 476,539,449	△ 468,333,108	△ 450,979,908	△ 432,183,487
(配当等相当額)	(167,140,107)	(165,187,868)	(161,690,100)	(157,287,667)	(151,110,543)	(144,725,946)
(売買損益相当額)	(△615,399,372)	(△630,625,908)	(△638,229,549)	(△625,620,775)	(△602,090,451)	(△576,909,433)
分配準備積立金	-	-	-	568,967	1,297,005	2,095,100
繰越損益金	△ 290,460,357	△ 220,987,359	△ 235,797,923	△ 213,072,431	△ 193,278,879	△ 173,986,993

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」を参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,217,735円	10,828,755円	10,404,945円	10,534,843円	10,325,519円	10,022,081円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	171,956,715	169,602,264	166,662,887	157,287,667	151,110,543	144,725,946
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	543,524	1,240,335
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	182,174,450	180,431,019	177,067,832	167,822,510	161,979,586	155,988,362
(f) 分配金	15,034,343	15,243,151	15,377,732	9,965,876	9,572,038	9,167,316
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	167,140,107	165,187,868	161,690,100	157,856,634	152,407,548	146,821,046
(h) 受益権総口数	1,670,482,588口	1,693,683,484口	1,708,636,895口	1,660,979,334口	1,595,339,833口	1,527,886,139口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
1 万 口 当 り 分 配 金	90円	90円	90円	60円	60円	60円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

株式&通貨ツインαコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
54期末(2017年8月17日)	4,515	70	1.0	11,278	0.1	87.23	△0.4	—	98.5	18,119
55期末(2017年9月19日)	4,478	70	0.7	11,368	0.8	88.92	1.9	—	99.2	17,609
56期末(2017年10月17日)	4,478	70	1.6	11,501	1.2	88.02	△1.0	—	98.4	17,403
57期末(2017年11月17日)	4,407	70	△0.0	11,389	△1.0	85.74	△2.6	—	98.3	16,773
58期末(2017年12月18日)	4,389	70	1.2	11,549	1.4	86.17	0.5	—	98.5	16,426
59期末(2018年1月17日)	4,285	70	△0.8	11,924	3.2	88.21	2.4	—	98.3	16,018
60期末(2018年2月19日)	3,957	70	△6.0	11,118	△6.8	84.26	△4.5	—	98.5	14,650
61期末(2018年3月19日)	3,886	70	△0.0	10,873	△2.2	81.78	△2.9	—	98.6	14,198
62期末(2018年4月17日)	3,764	70	△1.3	10,881	0.1	83.35	1.9	—	99.3	13,665
63期末(2018年5月17日)	3,751	70	1.5	11,325	4.1	82.98	△0.4	—	98.5	13,375
64期末(2018年6月18日)	3,678	70	△0.1	11,196	△1.1	82.21	△0.9	—	98.7	13,222
65期末(2018年7月17日)	3,671	70	1.7	11,626	3.8	83.35	1.4	—	98.5	13,217
66期末(2018年8月17日)	3,583	70	△0.5	11,386	△2.1	80.51	△3.4	—	98.8	12,845
67期末(2018年9月18日)	3,469	70	△1.2	11,072	△2.8	80.10	△0.5	—	99.9	12,332
68期末(2018年10月17日)	3,290	45	△3.9	10,530	△4.9	80.27	0.2	—	98.2	11,865
69期末(2018年11月19日)	3,254	45	0.3	10,566	0.3	82.50	2.8	—	98.2	11,494
70期末(2018年12月17日)	3,149	45	△1.8	10,186	△3.6	81.36	△1.4	—	97.9	11,088
71期末(2019年1月17日)	3,075	45	△0.9	10,186	0.0	78.11	△4.0	—	98.6	10,799
72期末(2019年2月18日)	3,108	45	2.5	10,714	5.2	79.03	1.2	—	98.2	10,866
73期末(2019年3月18日)	3,142	45	2.5	10,913	1.9	79.08	0.1	—	98.9	10,602
74期末(2019年4月17日)	3,161	45	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	—	98.4	10,560
75期末(2019年5月17日)	3,047	45	△2.2	10,714	△4.9	75.76	△5.7	—	98.4	10,104
76期末(2019年6月17日)	3,014	45	0.4	10,946	2.2	74.73	△1.4	—	98.6	9,942
77期末(2019年7月17日)	3,026	45	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	—	98.4	9,964
78期末(2019年8月19日)	2,793	45	△6.2	10,328	△8.4	72.15	△5.1	—	98.5	9,146
79期末(2019年9月17日)	2,938	45	6.8	11,074	7.2	74.25	2.9	—	98.7	9,434
80期末(2019年10月17日)	2,896	45	0.1	11,112	0.3	73.81	△0.6	—	99.3	9,099
81期末(2019年11月18日)	2,918	30	1.8	11,266	1.4	74.20	0.5	—	98.7	9,024
82期末(2019年12月17日)	2,943	30	1.9	11,527	2.3	75.30	1.5	—	98.5	8,844
83期末(2020年1月17日)	2,968	30	1.9	11,973	3.9	76.08	1.0	—	98.7	8,771

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

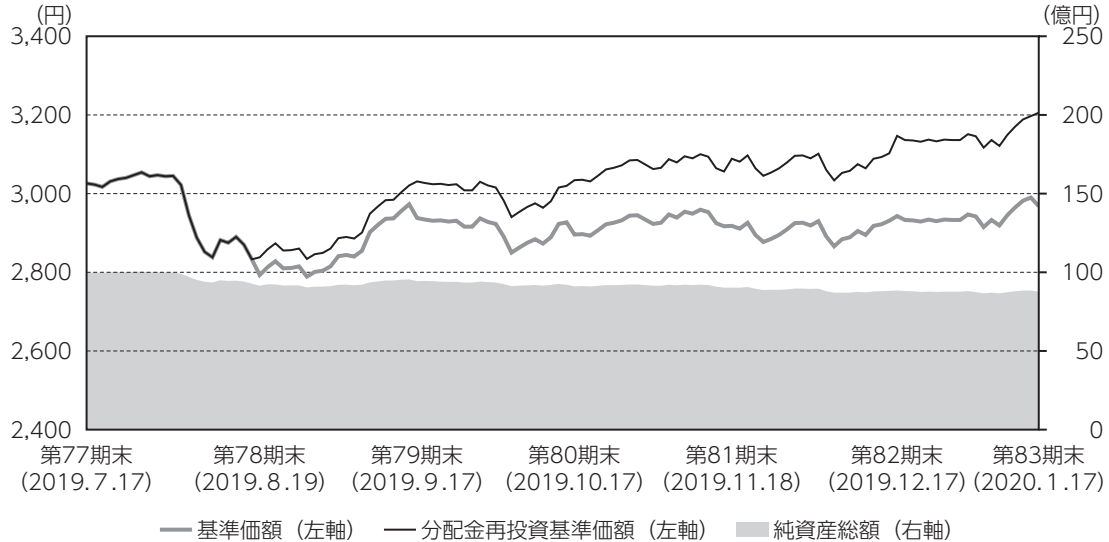
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第78期首：3,026円

第83期末：2,968円（既払分配金225円）

騰落率：5.9%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、豪ドルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、株価が上昇したことがプラスに働き、上昇しました。オプション取引については、株式オプション取引についてはマイナス要因となり、通貨オプション取引についてはプラスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	(円 換 算) 騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第78期	(期首)2019年7月17日	円 3,026	% -	11,281	% -	円 76.01	% -	% -	% 98.4
	7月末	3,044	0.6	11,410	1.1	74.59	△1.9	-	98.9
	(期末)2019年8月19日	2,838	△6.2	10,328	△8.4	72.15	△5.1	-	98.5
第79期	(期首)2019年8月19日	2,793	-	10,328	-	72.15	-	-	98.5
	8月末	2,815	0.8	10,410	0.8	71.58	△0.8	-	99.5
	(期末)2019年9月17日	2,983	6.8	11,074	7.2	74.25	2.9	-	98.7
第80期	(期首)2019年9月17日	2,938	-	11,074	-	74.25	-	-	98.7
	9月末	2,937	△0.0	10,939	△1.2	72.88	△1.8	-	99.0
	(期末)2019年10月17日	2,941	0.1	11,112	0.3	73.81	△0.6	-	99.3
第81期	(期首)2019年10月17日	2,896	-	11,112	-	73.81	-	-	99.3
	10月末	2,934	1.3	11,254	1.3	75.28	2.0	-	99.7
	(期末)2019年11月18日	2,948	1.8	11,266	1.4	74.20	0.5	-	98.7
第82期	(期首)2019年11月18日	2,918	-	11,266	-	74.20	-	-	98.7
	11月末	2,926	0.3	11,373	1.0	74.14	△0.1	-	98.4
	(期末)2019年12月17日	2,973	1.9	11,527	2.3	75.30	1.5	-	98.5
第83期	(期首)2019年12月17日	2,943	-	11,527	-	75.30	-	-	98.5
	12月末	2,947	0.1	11,666	1.2	76.52	1.6	-	99.1
	(期末)2020年1月17日	2,998	1.9	11,973	3.9	76.08	1.0	-	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.7.18~2020.1.17)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首より、RBA（オーストラリア準備銀行）が利下げを実施したことや米中貿易摩擦に対する警戒感が和らいだことなどから上昇して始まりましたが、2019年8月に入ると、米国が対中制裁関税第4弾の発動を表明したことに加え、中国を「為替操作国」に指定したことにより、投資家のリスク回避姿勢が強まり、大きく下落しました。その後は、米中通商協議の先行き不透明感や米国の景気後退懸念などが株価の重しとなったものの、RBAによる追加利下げ観測や米中通商協議の進展などに下支えされ、底堅く推移しました。当作成期末にかけては、2020年1月以降緊迫化していた米・イラン関係で本格的な武力衝突が回避されたことや、米中通商協議の「第1段階の合意」が正式署名されたことでリスク選好度が強まり、上昇基調となりました。

■為替相場

豪ドルは対円で小幅に下落しました。

当作成期首から2019年8月にかけての豪ドル対円為替相場は、RBA（オーストラリア準備銀行）による政策金利の引き下げや、米中貿易摩擦が深刻化し投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円高豪ドル安が進行しました。9月以降は、米中両国が貿易協議の再開で合意したことが好感されたほか、貿易協議で両国が「第1段階の合意」に達し米中貿易摩擦に対する警戒感が和らいだことなどから、おおむね円安豪ドル高基調となりました。11月および12月のオーストラリア国内の金融政策決定会合において政策金利が据え置かれたことも、豪ドル高につながりました。2020年に入ると、中東情勢が緊迫化したことで円が買われ、いったんは円高豪ドル安となりましたが、その後、本格的な武力衝突が回避されたことで豪ドルは円に対し値を戻しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.7.18~2020.1.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

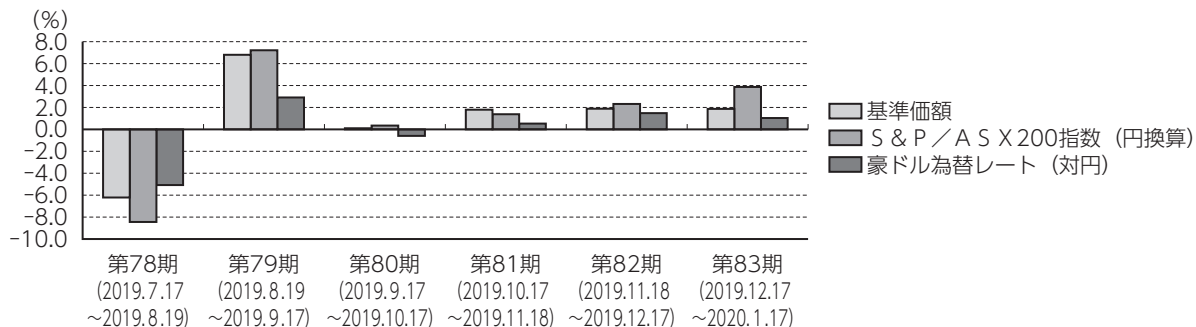
相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2019年7月18日 ～2019年8月19日	2019年8月20日 ～2019年9月17日	2019年9月18日 ～2019年10月17日	2019年10月18日 ～2019年11月18日	2019年11月19日 ～2019年12月17日	2019年12月18日 ～2020年1月17日
当期分配金（税込み）（円）	45	45	45	30	30	30
対基準価額比率（%）	1.59	1.51	1.53	1.02	1.01	1.00
当期の収益（円）	45	45	45	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	119	123	125	143	161	179

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 48.43円	✓ 48.78円	✓ 47.48円	✓ 47.85円	✓ 47.84円	✓ 47.79円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	53.90	54.43	54.70	55.01	55.42	55.69
(d) 分配準備積立金	62.03	65.00	68.52	70.72	88.17	105.75
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	164.37	168.22	170.71	173.58	191.44	209.24
(f) 分配金	45.00	45.00	45.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	119.37	123.22	125.71	143.58	161.44	179.24

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第78期～第83期 (2019.7.18～2020.1.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	20円	0.672%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,918円です。
（投 信 会 社）	(6)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(13)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(0)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	20	0.675	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

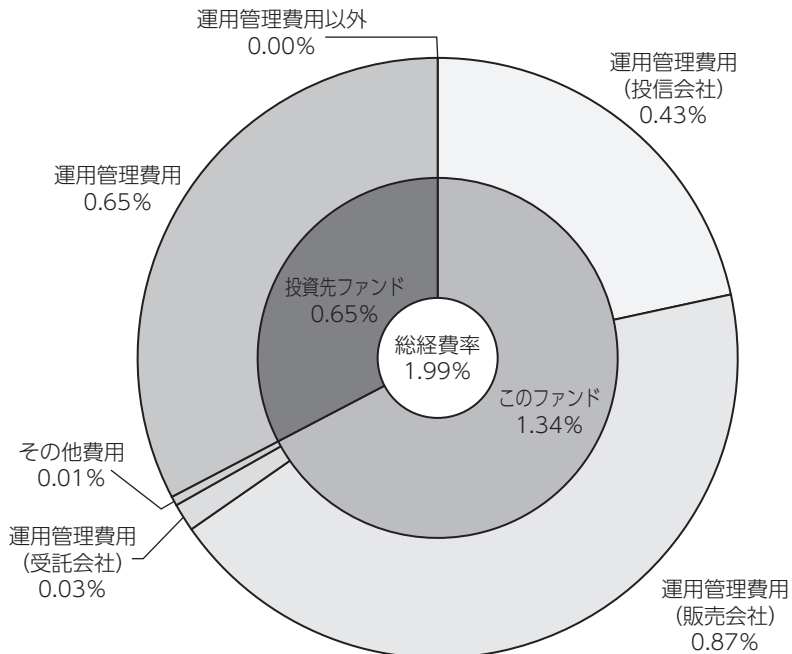
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。



総経費率 (①+②+③)	1.99%
①このファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
 (注3) 各比率は、年率換算した値です。
 (注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
 (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
 (注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。
 (注8) 投資ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年7月18日から2020年1月17日まで)

決算期	第78期～第83期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	31,629,8738	958,459	55,720,11345	1,704,844

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年7月18日から2020年1月17日まで)

第78期				第83期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	55,720,11345	1,704,844	30

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第83期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS)	千口 277,747,59065	千円 8,654,892	% 98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第83期末		
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 982	千口 982	千円 999

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年1月17日現在

項目	第83期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 8,654,892	% 97.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	999	0.0
コール・ローン等、その他	243,494	2.7
投資信託財産総額	8,899,386	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月19日)、(2019年9月17日)、(2019年10月17日)、(2019年11月18日)、(2019年12月17日)、(2020年1月17日)現在

項 目	第 78 期 末	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末	第 83 期 末
(A) 資産	9,314,277,861円	9,635,380,801円	9,373,518,838円	9,191,610,089円	8,962,704,334円	8,899,386,105円
コール・ローン等	307,594,178	317,499,795	337,422,988	280,854,685	249,641,338	243,494,317
投資信託受益証券(評価額)	9,005,684,469	9,316,881,792	9,035,096,636	8,909,756,288	8,712,063,880	8,654,892,672
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	999,214	999,214	999,214	999,116	999,116	999,116
(B) 負債	167,334,566	200,508,898	273,608,124	166,842,673	118,120,926	127,776,230
未払収益分配金	147,349,560	144,532,951	141,412,339	92,785,517	90,168,821	88,674,305
未払解約金	8,232,434	46,079,225	121,775,079	62,967,667	18,133,876	28,668,655
未払信託報酬	11,680,049	9,763,555	10,224,731	10,827,422	9,498,351	10,052,116
その他未払費用	72,523	133,167	195,975	262,067	319,878	381,154
(C) 純資産総額(A-B)	9,146,943,295	9,434,871,903	9,099,910,714	9,024,767,416	8,844,583,408	8,771,609,875
元本	32,744,346,840	32,118,433,728	31,424,964,277	30,928,505,974	30,056,273,706	29,558,101,774
次期繰越増損金	△23,597,403,545	△22,683,561,825	△22,325,053,563	△21,903,738,558	△21,211,690,298	△20,786,491,899
(D) 受益権総口数	32,744,346,840口	32,118,433,728口	31,424,964,277口	30,928,505,974口	30,056,273,706口	29,558,101,774口
1万口当り基準価額(C/D)	2,793円	2,938円	2,896円	2,918円	2,943円	2,968円

*第77期末における元本額は32,933,861,762円、当作成期間(第78期~第83期)中における追加設定元本額は1,034,671,415円、同解約元本額は4,410,431,403円です。

*第83期末の計算口数当りの純資産額は2,968円です。

*第83期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は20,786,491,899円です。

■損益の状況

第78期 自2019年7月18日 至2019年8月19日 第81期 自2019年10月18日 至2019年11月18日
 第79期 自2019年8月20日 至2019年9月17日 第82期 自2019年11月19日 至2019年12月17日
 第80期 自2019年9月18日 至2019年10月17日 第83期 自2019年12月18日 至2020年1月17日

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(A) 配当等収益	170,349,742円	159,241,868円	159,511,963円	157,997,344円	152,147,096円	150,080,958円
受取配当金	170,359,016	159,247,992	159,516,318	158,001,141	152,150,381	150,086,866
受取利息	34	35	129	12	80	22
支払利息	△ 9,308	△ 6,159	△ 4,484	△ 3,809	△ 3,365	△ 5,930
(B) 有価証券売買損益	△ 771,106,589	△ 457,281,916	△ 139,042,952	△ 14,217,955	△ 21,967,060	△ 22,324,011
売買益	4,621,624	459,911,164	5,109,306	16,535,093	28,302,511	22,863,151
売買損	△ 775,728,213	△ 2,629,248	△ 144,152,258	△ 2,317,138	△ 6,335,451	△ 539,140
(C) 信託報酬等	△ 11,752,572	△ 9,824,199	△ 10,287,561	△ 10,893,514	△ 9,556,250	△ 10,113,392
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 612,509,419	△ 606,699,585	△ 10,181,450	△ 161,321,785	△ 164,557,906	△ 162,291,577
(E) 前期繰越増損金	△13,127,106,871	△13,525,395,727	△12,731,136,267	△12,607,347,716	△12,130,027,017	△11,826,337,716
(F) 追加信託差損益金	△ 9,710,437,695	△ 9,620,332,732	△ 9,462,686,407	△ 9,364,927,110	△ 9,156,052,366	△ 9,033,771,455
(配当等相当額)	(176,523,526)	(174,822,521)	(171,901,462)	(170,145,284)	(166,594,245)	(164,617,448)
(売買損益相当額)	(△ 9,886,961,221)	(△ 9,795,155,253)	(△ 9,634,587,869)	(△ 9,535,072,394)	(△ 9,322,646,611)	(△ 9,198,388,903)
(G) 合計(D + E + F)	△23,450,053,985	△22,539,028,874	△22,183,641,224	△21,810,953,041	△21,121,521,477	△20,697,817,594
(H) 収益分配金	△ 147,349,560	△ 144,532,951	△ 141,412,339	△ 92,785,517	△ 90,168,821	△ 88,674,305
次期繰越増損金(G+H)	△23,597,403,545	△22,683,561,825	△22,325,053,563	△21,903,738,558	△21,211,690,298	△20,786,491,899
追加信託差損益金	△ 9,710,437,695	△ 9,620,332,732	△ 9,462,686,407	△ 9,364,927,110	△ 9,156,052,366	△ 9,033,771,455
(配当等相当額)	(176,523,526)	(174,822,521)	(171,901,462)	(170,145,284)	(166,594,245)	(164,617,448)
(売買損益相当額)	(△ 9,886,961,221)	(△ 9,795,155,253)	(△ 9,634,587,869)	(△ 9,535,072,394)	(△ 9,322,646,611)	(△ 9,198,388,903)
分配準備積立金	214,368,925	220,958,755	223,153,584	273,947,248	318,644,158	365,186,394
繰越増損金	△14,101,334,775	△13,284,187,848	△13,085,520,740	△12,812,758,696	△12,374,282,090	△12,117,906,838

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(a) 経費控除後の配当等収益	158,597,119円	156,704,232円	149,224,372円	148,003,602円	143,796,829円	141,277,205円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	176,523,526	174,822,521	171,901,462	170,145,284	166,594,245	164,617,448
(d) 分配準備積立金	203,121,366	208,787,474	215,341,551	218,729,163	265,016,150	312,583,494
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	538,242,011	540,314,227	536,467,385	536,878,049	575,407,224	618,478,147
(f) 分配金	147,349,560	144,532,951	141,412,339	92,785,517	90,168,821	88,674,305
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	390,892,451	395,781,276	395,055,046	444,092,532	485,238,403	529,803,842
(h) 受益権総口数	32,744,346,840口	32,118,433,728口	31,424,964,277口	30,928,505,974口	30,056,273,706口	29,558,101,774口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
1 万 口 当 り 分 配 金	45円	45円	45円	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド
株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース／通貨αコース／株式&通貨ツインαコース）は、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド 株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年1月17日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

貸借対照表

2018年12月31日

		(円)
資産		
担保付スワップ投資（評価額）（簿価：23,055,922,301円）		11,548,799,882
未収利息		7,107,745
資産計		<u>11,555,907,627</u>
負債		
未払代理人手数料		7,107,745
負債計		<u>7,107,745</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産		<u>11,548,799,882</u>
帰属先別純資産	ツインαクラス受益証券	10,483,716,043
	通貨αクラス受益証券	798,899,364
	株式αクラス受益証券	<u>266,184,475</u>
発行済受益証券数	ツインαクラス受益証券	316,599,465
	通貨αクラス受益証券	14,004,289
	株式αクラス受益証券	<u>5,629,345</u>
受益証券一口当り純資産	ツインαクラス受益証券	33.113
	通貨αクラス受益証券	57.046
	株式αクラス受益証券	<u>47.285</u>

包括利益計算書

2018年12月31日終了年度

(円)

収入

損益を通じて公正価値で測定される金融商品による純損益

手数料収入

担保付スワップ投資純損失

投資純利益

3,058,038,761

(5,192,478,134)

(2,134,439,373)

収入計

(2,134,439,373)

営業費用

営業費用計

93,575,221

93,575,221

金融費用控除前営業損益

(2,228,014,594)

償還可能受益証券の保有者への分配金

(2,964,463,540)

償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産変動額（分配金支払後）

(5,192,478,134)

当トラストが保有していた担保付スワップ投資

2018年12月31日時点

	簿価 (円)	評価額 (円)
ツインαクラス受益証券	21,501,040,768	10,483,716,043
通貨αクラス受益証券	1,106,342,123	798,899,364
株式αクラス受益証券	448,539,410	266,184,475
	<u>23,055,922,301</u>	<u>11,548,799,882</u>

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース／通貨αコース／株式&通貨ツインαコース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第83期の決算日（2020年1月17日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年7月18日～2020年1月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年1月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（82,829,709千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年1月17日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,998	% <1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

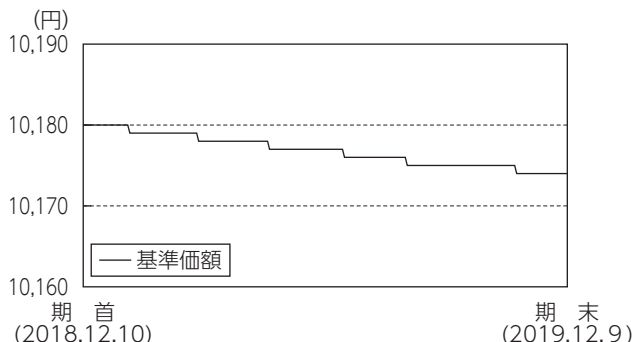
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,180	—	—
12月末	10,180	0.0	—
2019年 1 月末	10,179	△0.0	—
2 月末	10,179	△0.0	—
3 月末	10,178	△0.0	—
4 月末	10,178	△0.0	—
5 月末	10,177	△0.0	—
6 月末	10,176	△0.0	—
7 月末	10,176	△0.0	—
8 月末	10,175	△0.0	—
9 月末	10,175	△0.0	—
10 月末	10,175	△0.0	—
11 月末	10,174	△0.1	—
(期末)2019年12月 9 日	10,174	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円 期末：10,174円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	350,004	(350,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	238,999,542	238,999,547 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

買		売	
銘柄	金額	銘柄	金額
801 国庫短期証券 2019/3/18	350,004 千円		

(注1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	999,997 千円	<1.2> %

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	83,690,918 千円	100.0 %
投資信託財産総額	83,690,918	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	83,690,918,350円
コール・ローン等	82,690,920,679
現先取引(その他有価証券)	999,997,671
(B) 負債	51,646
その他未払費用	51,646
(C) 純資産総額(A - B)	83,690,866,704
元本	82,259,129,638
次期繰越損益金	1,431,737,066
(D) 受益権総口数	82,259,129,638口
1万口当り基準価額(C / D)	10,174円

* 期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用) 1,850,319,411円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - AI新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - AI新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワFEGグローバル・バリュエ (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワFEGグローバル・バリュエ (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/ "R I C I" コモディティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>

米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株ファンド - パラダイムシフト-9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 4,212,646,194円、プルベア・マネー・ポートフォリオV 32,678,414,397円、プル3倍日本株ポートフォリオV 31,868,647,270円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 6,946,381,074円、ダイワFEGグローバル・バリュエ株ファンド (ダイワSMA専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命- (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 42,819,286円
受取利息	111,756
支払利息	△ 42,931,042
(B) その他費用	△ 2,381,736
(C) 当期損益金(A + B)	△ 45,201,022
(D) 前期繰越損益金	1,418,229,476
(E) 解約差損益金	△1,927,237,136
(F) 追加信託差損益金	1,985,945,748
(G) 合計(C + D + E + F)	1,431,737,066
次期繰越損益金(G)	1,431,737,066

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。